令和７年度　再発防止の取り組み

当園では、これまでの出来事を決して忘れることなく、同じことを二度と繰り返さないために、職員全員でこれまでの保育を振り返り、保育の考え方や組織の在り方を見直してきました。
この３年間、第三者からのご指導をいただくとともに、自治体による巡回指導や研修、職員同士の対話を重ねながら、「なぜこの関わりが必要なのか」「子どもにとって何が最善なのか」を常に考えることを大切にしてきました。

研修で知識を得るだけではなく、実際の保育を振り返り、子どもの姿について職員同士で語り合うことで、園の理念や方針、目標を日々の保育につなげています。
その積み重ねを通して、子ども一人ひとりの思いや発達、個性を理解し、その子に寄り添った関わりを考える意識が、職員の中に少しずつ根付いてきています。
また、子どもの主体性を大切にしながら、集団での活動や友だちと経験を共有することにも意味があると考えています。一つの保育方法に偏るのではなく、子どもの発達やその日の様子、集団の状態に応じて、その時に必要な保育を柔軟に選択することを心掛けています。
こうした保育を継続していくためには、職員自身が安心して学び、相談できる環境も重要です。職員同士が悩みや気づきを共有し、支え合い、学び合いながら、チームで子どもたちを見守ることを大切にしています。また、新しく加わる職員にも、これまでの経緯や園が大切にしている考え方を丁寧に伝え、日々の保育や対話を通して理解を深められるよう支援しています。

保護者の皆さまには、これまでの経緯を知ることで、不安に思われることもあると思います。そのお気持ちを、私たちは真摯に受け止めています。
現在園にいる職員は、これまでの出来事から学び、「子どもたちのために何ができるのか」を考えながら、日々の保育に向き合っています。
信頼は、言葉だけで得られるものではありません。日々の子どもたちへの関わりや、保護者の皆さまとの対話を一つひとつ積み重ねる中で築いていくものだと考えています。

これからも、日々の振り返りや事例の共有、研修、外部からの助言、そして保護者の皆さまからいただく声を大切に受け止め、保育の改善に生かしていきます。
これまでの経験を決して無駄にせず、これからの保育に生かしていく。その姿勢を職員一人ひとりが持ち続け、園全体で学び続ける組織を目指してまいります。
日々の積み重ねを大切にし、保護者の皆さまに「この園なら安心して子どもを預けられる」と思っていただける園を目指します。
これからも職員一丸となって、誠実に保育と組織づくりに取り組んでまいります。